

究極のエコロジー改修システム 建物の内・外装の改修時において、 従来工法に比べ、地球環境への負荷が軽減。

エコロジー
Ecology

地球環境への配慮

マテリアルリファイン システムは、現状の素材をそのまま生かして建物完成当初の状態に戻します。したがって、環境への多大な負荷をかける産業廃棄物が発生しません。

従来の改修工事

各作業フェーズにおいて膨大なエネルギーが必要となり、それによるCO₂が地球環境へ多大な負荷をかけます。また、処理段階での最終処分場の不足や不法投棄は大きな社会問題となっています。



マテリアルリファイン システム

作業は、洗浄及びコーティングするだけです。それによる、エネルギー負荷や液剤による自然環境への負荷はほぼありません。



洗浄剤塗布・浸透



拭き取り



水で洗い流す

究極のエコロジーを実現

従来の改修工事に比べて、圧倒的に環境への負担が軽減される究極のエコロジー工法。

[ユーデコ
スタイル]



ユーデコスタイルは、「人と地球にやさしい環境づくり」を目指す21世紀のコンセプト。

ユニバーサルデザインとエコデザインを1つに融合させ、持続可能な共創社会の実現とより多くの人々が利用できる製品と空間デザインを積極的に推進します。

人の健康へ多大な影響を及ぼす“カビ”を 根元から分解、除去し、 さらにその後の発生も防ぎます。

健康空間
Health

健康空間の創造

優れた除カビ・防カビ効果により衛生管理の面でも貢献。人体への影響にも配慮した健康空間を創造します。



カビを元から取り除き、根絶させます

除カビ殺菌剤や漂白剤を使用して、ブラシなどでこすり落とす方法ではありません。材料の内部に特殊洗浄剤を浸透させて、カビを殺し、元から根絶させます。

人体への影響

従来工法で同様の効果を実現するには、人体に影響を及ぼすような強力な液剤や危険を伴う作業が必要でした。

人体に安全な特殊洗浄剤

洗浄剤や保護剤には人体に毒性のあるものは一切含んでおりません。除カビ剤や、防カビ剤は食品添加物を主成分として使用しております。

建物にはびこるカビの実態

近年、建物の気密性・断熱性の向上や生活様式の変化による通気性の悪化、エアコンの普及による年中温度の不変により、カビの発生に好条件な環境が作られています。

空中浮遊菌による発芽・増殖

カビの胞子は空気中の塵や水蒸気に付着して空中を移動しています。この空中浮遊菌はあらゆる建物に侵入し、材料や壁面に付着します。特に建築材料の木材、石膏ボード、塗料、接着剤などについていたものが、建築物の仕上げとして用いられ、ここで発芽し、増殖しています。



カビと病気

手術後や抗生物質などにより身体が免疫を失い、身体の抵抗力が弱まった時に発症する日和見感染症にはカビを原因とするカンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症、ムコール症などがあります。カビの毒を総じてマイコトキシンと言いますが、菌が産生する毒は加熱によっても分解しないために中毒時には発ガンし、死に至らしめることもあります。

建物の衛生管理

このように、医療や介護、各種研究室、飲食店など常に衛生面に気をつかう建物において、マテリアルリファイン システムは、汚れを落とすと同時にカビを根絶し、さらに発生を防止するという優れた効果を実現し、外見だけの美観だけでなく、人の健康面にも配慮した環境づくりにも寄与しています。

